

1. 基本情報

評価対象年度 (令和2 年度)

施策コード	112	施策名	防犯体制の充実・強化
将来像	1	安全でうれしいのある暮らしができるまち(「暮らし」の分野)	
まちづくりの基本目標	11	安全・安心に生活できるまち	
担当部	総務部	担当課	防災防犯課

2. 施策の方向

10年後の姿	市民の防犯意識が高まり、犯罪のない安全・安心なまちづくりが進んでいます。		
施策の方向性	1	市民一人一人の防犯意識の向上に努めます	
	2	地域の連携による見守り体制を強化します	
	3	関係機関と連携し暴力団排除活動を推進します	

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和2年度決算額
防犯事業	1、2、3	防災防犯課	312
市民安全推進事業	2	防災防犯課	3,425
学童クラブ運営管理事業	2	生涯学習スポーツ課	54,888
児童センター施設維持管理事業	2	生涯学習スポーツ課	26,475
消費者保護対策事業	2、3	産業振興課	3,875
児童・生徒安全推進事業	2	教育総務課	392
小学校施設維持管理事業	2	教育総務課	69,777
中学校施設維持管理事業	2	教育総務課	34,368
総事業費(施策の合計)			193,511

4. まちづくり指標

指標情報				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和5年度	令和7年度	
①	名称	刑法犯の認知件数		目標値	540	510	360	350	340
	説明	万引き、自転車盗などの認知件数	単位 件	実績値	486	362			
	抽出方法	警察発表		達成率	111.1%	140.9%			
②	名称	自分の住んでいる地域が治安の面で安心できると思う人の割合		目標値	—	75.0	75.0	80.0	85.0
	説明	—	単位 %	実績値	69.7(※)	66.7			
	抽出方法	市政世論調査(平成29、令和2、5、8年度実施)		達成率	—	88.9%			

※平成29年度実績値

5. 評価(令和2年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	維持	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯事業では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総合的な防犯対策を促す市民まつりでの広報活動は実施できなかったが、防犯協会のパトロール活動や特殊詐欺撲滅の駅前キャンペーンなど、積極的な防犯施策を展開し、地域防犯の役割を果たしている。 ●学童クラブ運営管理事業においては、学童クラブに入会している児童に対して、日の短くなる11月から2月末までシルバー人材センターを活用し、帰宅時見守り活動を実施し、児童の安全を確保できた。

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している
 維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある
 停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和2年度からの 変更点	新型コロナウイルス感染症の影響に配慮した防犯体制の確保が必要となる。
-----------------	------------------------------------

7. 施策を進める上での課題

①	施策を進める 上での課題	依然、高齢者が標的にされる犯罪発生件数が多い。
	課題に対する 令和4年度以 降の取組	高齢者に対して、様々な機会と媒体をとおして特殊詐欺に関する情報を提供するとともに、対策の必要性を啓発する。
②	施策を進める 上での課題	災害対策での自主防災組織と同様に自主的な防犯活動を促すためにも、地域コミュニティは不可欠であることから、自治会の組織率が大きな課題となる。
	課題に対する 令和4年度以 降の取組	地域コミュニティの延長で避難所運営協議会の設立が進み、防災についての取組を推進している。同様に防犯面の地域でのパトロールや特殊詐欺の注意喚起も取り入れており、さらなる充実を図る。
③	施策を進める 上での課題	学童クラブに入会する児童の帰宅時見守りは、父母会等からの要望があり実施している。高齢者の雇用対策にもつながるため、事業メリットは大きいものの、一般財源での対応となっている。
	課題に対する 令和4年度以 降の取組	学童クラブに入会する児童の安全・安心の確保のため、引き続き国や東京都の補助制度の活用に努めていく。